



発行所
水戸市八幡町 11—52
ラク・ハイツ内
社会福祉法人
茨城県母子寡婦福祉連合会
029 (221) 7505
編集発行者
境 洋子

第521号



県母連は共同募金会の受配団体です。



会長新年のご挨拶

社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会 会長 境 洋子

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から茨城県母子寡婦福祉連合会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、景気は、緩やかに回復しているといわれていますが、いまだに母子家庭の大半が非正規雇用であり経済的に厳しい状況に変わりはありません。母親の所得の不安定が次代を担う子の養育にも少なからず影響を及ぼすこととなり、親の貧困が子に連鎖することも懸念されていることから、母子寡婦福祉の施策を積極的に活用し、自立の促進に結び付けていかなければならないと思います。

そのような中、児童扶養手当においては、所

得制限額が引き上げられ、支給回数が年3回から6回に見直されました。これも私達が長い間、関係機関に要望してきた結果であり、改めて、母子寡婦福祉会の大切さをかみしめているところです。

また、各地区の母子寡婦福祉会においては、依然として会員の減少、役員の高齢化により後継者育成に困難をきたしております。

このように課題は、山積しておりますが、今年も既存組織の強化と次世代の母子寡婦福祉会の運営にかかる指導者の育成に努めるとともに、信頼され、頼られる団体となるよう決意新たに取り組んでまいりたいと考えております。

結びになりますが、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げまして新年の挨拶いたします。



知事新年のご挨拶

茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、ひとり親家庭や寡婦の皆様方の福祉の向上にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、令和初の国体「いきいき茨城ゆめ国体」で、45年ぶりに天皇杯・皇后杯を獲得するなど明るい話題がある一方、相次いで発生した大型台風により、本県は甚大な被害を受けました。

被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災者の皆様が一日でも早く心安らぐ生活を取り戻せますよう、引き続き、全力で復旧・復興に取り組んでまいります。

さて、人口減少や少子高齢化、デジタル経済の進展などにより、社会情勢が急速に変化する中、私はこれまで、茨城も変わらなければ未来に希望はないとの危機意識を持ち、「スピード感」と「選択と集中」を信条に、困難な政策課題にも臆せず取り組んでまいりました。

この結果、企業誘致では、数多くの本社機能の誘致を実現するとともに、喫緊の課題である

医師確保についても、取組が着実に成果に結びついております。

また、茨城空港における国際線定期便の新設や、外国クルーズ客船の新規就航など、夢・希望につながる成果も上がってきております。

さらに、将来の茨城を支える人財の育成に向けた中高一貫教育校の設置などにも力を入れているところです。

今年はいよいよ東京オリンピックのサッカー競技が本県で開催されます。これを契機に、茨城の魅力を世界に発信するとともに、1人でも多くの皆様に、「茨城県、ワクワクするよね」と感じていただけるような「活力があり県民が日本一幸せな県づくり」に引き続き挑戦してま

いります。

特に、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進を図るため、児童扶養手当の支給、福祉資金の貸付けなどの経済的支援や、母子家庭等就業自立支援センターを通じた就業支援を推進するとともに、親と子のふれあいの機会を提供する親子すこやか交流事業などにも取り組んでまいりますので、皆様方には、今後とも、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨城県母子寡婦福祉連合会の益々のご発展と、皆様方にとりまして、本年が実り多き素晴らしい1年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

県北・県西ブロックだより

ますますの発展をめざして

高萩市母子寡婦福祉会

会長 佐川 あや子

会の活性化をめざし、年間の事業に対し、有意義な活動の展開にと心がけ、微力ながら頑張っています。令和元年8月25日、親子すこやか研修事業として、楽しいディズニーランドへ、同年12月1日、迎賓館、NHK放送博物館を、寡婦福祉会員の見学研修を実施しました。視野をひろめ会員相互の親睦を深める事が出来ました。

地域に於ける存在意識、役割などが希薄に感じていますと共に、責任を痛感しています。つよい母子寡婦福祉会、信頼ある会として、地域に根ざした活躍を図り、母子部員がますますふえて活動的に発展、展開していくことを希望しています。会の発展を目指します。



親子ふれあい事業にて

北茨城市母子寡婦福祉会

国井 洋子

11月9日、北茨城市母子会は、毎年恒例の東京ディズニーシーへ行って来ました。

県母連の御配慮により、北茨城市母子会は、小林会長が毎年「親子ふれあい事業」を計画して、

親子で楽しめる企画を実施しております。

今年は、高校3年生の男子が出席して「大きくなったねー」と小林会長が子供の成長に感動しておられました。

ディズニーシーでは、クリスマスバージョンで、とても華やかでした。帰る頃はライトアップして、神秘的で夢の世界でした。お天気にも恵まれて、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

帰りのバスの中では、又来年もよろしく願います…と、子供達が小林会長にお願いしている

姿に、親子ふれあい事業の大切さを改めて実感致しました。

今後も此の事業が続いていって欲しいと願っております。

本当にありがとうございました。



母子と寡婦が支え合いながら

常総市母子寡婦福祉会

会長 山中 達江

今年度も、県の親子すこやか事業を活用させていただき、親子クリスマス会を、賑やかに実施致しました。

ペットボウリング、輪投げ、射的、ビンゴゲーム等で楽しんでもらい、親子でケーキ作りをし、昼食は弁当と、寡婦が作った具たくさん豚汁で温まりました。

毎年クリスマス会には、市内の鶏卵業者様から、新鮮な卵を提供して戴き、帰りのみやげは、両手にいっぱい。笑顔の親子に私たち寡婦も嬉しくなります。

当母子会も会員の減少と、役員の高齢化で頭を痛めております。

戦後の「未亡人会」活動から始まり、離婚母子

の方たちが国や県に対し、根気強く要望活動を行って来た、この組織を衰退させる訳にはいきません。福祉事務所の応援を受けながら、若い会員を増やし、母子と寡婦が支え合い、力強い団体となって、次世代を担う子どもたちの健全な成長を願い、母子、父子並びに寡婦福祉向上のため、若いリーダーと共に活動していきたいと考えております。



新春の集いといちご狩り

下妻市母子寡婦福祉会

会長 大久保 美智子

私たち下妻市母子寡婦福祉会は、親子健やか日帰り研修として1月4日に新春の集い及びいちご狩りを行いました。私たちの母子会は小さい子供を持つ母子の方々が多くなかなか人数が集まりにくいのですが、今回は17組中12組の方々に参加していただきました。また、母子会の会員以外の方も下妻市のお知らせ版を見て参加して下さり総勢28名で行事を行いました。

新春の集いでは、鶏のからあげが大きくて有名な“まるちゃん家”というお弁当屋さんのお弁当を皆で食べながら、普段の子育ての悩みや母子会の活動の一つであるフードバンク事業などのお話をしました。

食事をした後はいちご狩りを行いました。茨城県のいちご狩りスポットで有名な大地下妻農場さ

んに協力していただき、皆でいちご狩りを楽しみました。今回食べたいちごの品種はとちおとめで昔と違い最近の物は甘くなっていて練乳を付けずにそのままいただきました。2歳から高校生までと年齢の違う子ども達が集まりましたが、いちご狩りをしているうちに会話も広がり周りとも交流を深めました。最後には、参加者全員で記念写真を撮りお開きとなりました。

今回、1組の方が母子会に加入していただきました。これからも母子寡婦共に協力し、下妻だけでなく茨城県母子寡婦福祉連合会の発展に貢献したいと思います。



カップケーキ作り in クリスマス会

境町母子寡婦福祉会

会長 岡野裕子

12月1日に、境町母子寡婦福祉会の親子行事で、『カップケーキ作りinクリスマス会』を行いました。

例年は、親子でボウリング大会を行っていましたが、数年ぶりに高島先生を講師に迎え参加者28名でカップケーキ作りをしました。

カップケーキ作りが始まると、親子数組でグループになり、子供達も高島先生の話に興味津々で聞きました。先生の下準備のおかげで、生地作りが手際よく進みました。オープンに入れ、焼けていくところをみたり、生クリームを泡立てたり、飾り付けの時は皆の笑顔がとても印象的でした。

カップケーキ作りが終わると、自分でデコレーションしたカップケーキを食べながら、お茶タイムです。私は、6月の親子旅行に仕事で参加でき

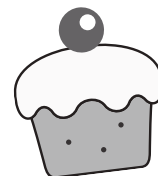
なかった為、久しぶりに会う子供たちの成長が見られてとても良かったです。

今回、子供の参加者が、下は4歳、上は16歳と幅広く、お兄さんが下の子の面倒を見ていたり、子供たち同士、協力してカップケーキ作りをしている光景がとても素晴らしかったです。

クリスマス会の最後には、子供たちにプレゼントとカップケーキのお土産を渡し、あっという間に、時間が過ぎました。

私は、境町母子寡婦福祉会に入会して、もうすぐ10年になります。知り合いがいない中、最初の行事に参加した時は、不安もありましたが、会員の皆さんがとても親切で楽しかったことを今でも思い出します。入会した当時、保育園生だった娘も中学生になり、部活などで一緒に参加する機会が少なくなってきましたが、また一緒に参加していきたいです。

そして、親同士のコミュニケーションを大切に、不安や悩みなどを聞いて、会に参加して良かったと思える会に、会員の皆さんと作っていきたいです。



県母連 活動だより

令和元年度全国母子寡婦福祉研修大会 (第73回関東地区母子寡婦福祉研修大会)

令和元年9月26日(土)、27日(日)にカルツかわさきホール(川崎市)にて全国母子寡婦福祉研修大会及び関東ブロック大会が開催されました。「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」をテーマに、全国のひとり親福祉の関係者が一堂に会し研修討議を行うため、茨城県母子寡婦福祉連合会境

会長及び川崎副会長が参加いたしました。

全国母子寡婦福祉団体協議会海野理事長のあいさつ後、母子寡婦等福祉事業に功労のあった堺市母子寡婦福祉会の吉田百合子理事長へ理事長顕彰が贈呈されると、会場は温かい拍手に包まれました。行政説明では、文部科学省から令和2年4月から大学・高校・専門学校等に進学する際の授業料・入学金免除・減額、給付型奨学金支給が受けられる制度説明がありました。また、研修討議においては代表6名がひとり親家庭における苦勞や、会に入会して良かった事、今後の夢、奨学金制度への要望等の発表があり、助言者からのアドバイス・意見交換を交えながらの討議会はとても有意義なものでした。

大会の閉会式では各団体の理事長・会長が登壇し、「今日の日はさようなら」を参加者全員で合唱し2日間の研修が閉会となりました。





お知らせ広場



母子寡婦福祉小口融資貸付制度について



県母連では母子家庭のお母さん又は寡婦の方を対象に10万円を限度額に貸付しています。貸付の種類としては教育資金など9種類の要件で利用することができます。特にこれからの時期、お子さんが高校、専門学校、大学へ進学する場合、入学準備金等が必要になると思いますので、お気軽にご相談ください。

なお、入学金に充てる場合は限度額20万円までの範囲で申請ができます。

*申請する時は、各市町村の母子会長と面接が必要

*連帯保証人必須

*利率は無利子。ただし、最終償還日までに完納しない場合は、年5%の違約金が発生します。

貸付のご相談はお早めに！



母子家庭等自立促進対策事業



講習種目 「介護職員初任者研修」

日 程 6月14日～10月11日（日曜日14日間）

受講料 無料

テキスト代 6,000円

講習種目 「調剤薬局事務講座」

日 程 10月3日～11月21日（土曜日8日間）

※認定試験は11月28日（土）

受講料 無料

テキスト代 3,000円（認定試験代 別途6,500円）

会 場 水戸市八幡町11-52 ラーク・ハイツ会議室

対 象 者 ひとり親家庭の父・母、寡婦

託 児 有（2歳児以上）※市町村福祉担当課へ事前登録が必要

問合せ先

母子・父子福祉センター ☎029-221-8497



夢を応援基金 ひとり親家庭支援奨学金制度 奨学生募集



「一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会」とローソングループが力を合わせ、ひとり親家庭の生徒さんを給付型奨学金で応援します。詳しくは「全母子協」ホームページを検索して下さい。

全母子協



申請は、社会福祉法人「茨城県母子寡婦福祉連合会」で受付け致します。応募期間は3月10日～4月28日（必着）。



令和2年度県母連主要行事予定

月	主な事業等	月	主な事業等	月	主な事業等
4	○辞令交付式(4/1) ○夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金」(申請受付)	5	○監事監査 ○理事会 ○観劇 ○高等職業訓練促進資金貸付金(就職準備金申請受付)	6	○評議員会 ○第522号母子草発行 ○介護職員初任者研修(6/14～10/11、日曜日のみ)
7	○理事会及び表彰審査会 ○高等職業訓練促進資金貸付金(入学準備金申請受付)	8	○第70回茨城県母子寡婦福祉大会(8/28 ザ・ヒロサワシティ会館〈県民文化センター〉)	9	○親子すこやか宿泊研修(9/21～22 県立児童センターこどもの城)(大洗町) ○第74回関東地区母子寡婦福祉研修大会(9/27 静岡)
10	○全国母子寡婦福祉研修大会(10/24～25 東京) ○第523号母子草発行 ○調剤薬局事務講座(10/3～11/21、土曜日のみ)	11	○理事会 ○若年母子家庭セミナー	12	○観劇
1	○新年懇談会 ○第524号母子草発行	2	○市町村母子寡婦福祉指導者等研修会 ○県母子部長等会議	3	○全国母子部長研修会 ○全国母子寡婦指導者研修会 ○理事会 ○評議員会



編集後記

- ◇ 新年あけましておめでとうございます。「令和2年」皆様いかがおすごしでしょうか。今回、県母連の新年度主要行事予定をお知らせしました。会員皆様の参加行事には多数参加頂けますようお願いいたします。
- ◇ 会員数が減少する中、母子会の活性化に向けての活動をいただきありがとうございます。「母子草」ブロックだよりには、多くの母子会の活動を紹介してまいりますので、ご投稿をお待ちしております。(事務局長)



各市町村の母子会では、新しい仲間を募集しています。
あなたもお近くの母子会に入って、一緒に事業に参加しませんか。

お問い合わせ (社福)茨城県母子寡婦福祉連合会 TEL029-221-7505